

05 申請から審査・認証登録までの流れ

申請の準備	下記の申請書類をご用意ください。※①②③は推進協議会のホームページからダウンロードできます。 ①(別添様式1)申請書 ②(別添様式2)提出書類 ③(別添様式3)添付書類整理表 ④その他添付書類 ⑤団体概要
申請書類の受付	申請書類をメールにて送付してください。(郵送は必要ありません。)
一次審査(書類審査)	申請書類の不足等の確認を行った後、書類の中身について審査いたします。
一次審査終了団体に二次審査(面接)の詳細(日時、場所等)を通知	一次審査(書類審査)後、二次審査(面接)日程等をお知らせします。
二次審査(面接審査)	面接は別途ご連絡いたします。
認証審査委員会	適合・不適合の最終判定が行われます。
二次審査結果報告 (最終の適合・不適合の結果を通知)	審査基準に適合していると判定された団体には、認証事務局より、「認証・登録契約書」「ロゴマーク使用規程」等を送付いたします。認証・登録契約書締結後、「認証・登録証」を交付します。

06 2022年度募集期間(新規・更新共通) 2022年4月～2023年3月

	募集期間	一次審査(書類)	二次審査(面接)	登録手続き
第1回	2022年4月1日～5月20日	2022年5月23日～6月10日	2022年6月20日～7月8日	2022年7月下旬
第2回	2022年8月1日～9月30日	2022年10月3日～10月14日	2022年10月24日～11月11日	2022年11月下旬
第3回	2022年12月1日～2023年1月31日	2023年2月1日～2月10日	2023年2月20日～3月10日	2023年3月下旬

※上記スケジュールは状況により多少変更となる場合があります。当協議会HPにてご確認ください。

07 審査料および認証・登録料について

申請団体 従業員数	新規・更新審査料	認証・登録料 (2年分)	合計
30人以下	事業継続	15,000	35,000
	事業継続および社会貢献		
31人以上 100人以下	事業継続	45,000	65,000
	事業継続および社会貢献		
101人以上 300人以下	事業継続	75,000	95,000
	事業継続および社会貢献		
301人以上	事業継続	120,000	140,000
	事業継続および社会貢献		

1. 申請団体従業員数は、過去1年以内の数字を記入してください。(消費税別)(単位:円)

申請団体従業員数は、正規社員だけでなく、契約社員・嘱託社員・派遣社員・パートタイマー・アルバイトなど非正規社員及び常勤の役員も含まれます。

<計算方法>

① 非正規社員を一律、二分の一で従業員相当に換算する。 ② 非正規社員の前年度一月平均の総労働時間を170で除して、その数字を従業員数として換算する。

③ 上記の方法以外で計算した場合は、その計算根拠を別途添付してください。

上記、①②③いずれかを選択して算出し、申請書に記入してください。

2. 複数枚の認証・登録証を希望する場合、2枚目以降、一枚につき3,000円＋消費税を納付してください。

問い合わせ先

一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会 レジリエンス認証事務局
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町41-1 H10神田405
TEL: 03-6712-5197 FAX: 03-6712-5198
Email: res@resilience-jp.com

レジリエンス認証 検索

2022年03月作成 ver.1.3

内閣官房国土強靱化推進室
「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づく

レジリエンス認証 について



日本各地では、地震、台風や水害などの自然災害が多発しています。またサイバーテロやウイルス感染症等、脅威の対象は拡大傾向にあります。想定外の事態により社会システムや事業の一部機能が停止しても、事業全体としての機能を速やかに回復できる取組みを評価し認証するのが、レジリエンス認証制度です。

皆様もぜひ、レジリエンス認証を取得いただきますよう、ご案内申し上げます。



オールジャパンで国土強靱化を
レジリエンスジャパン推進協議会

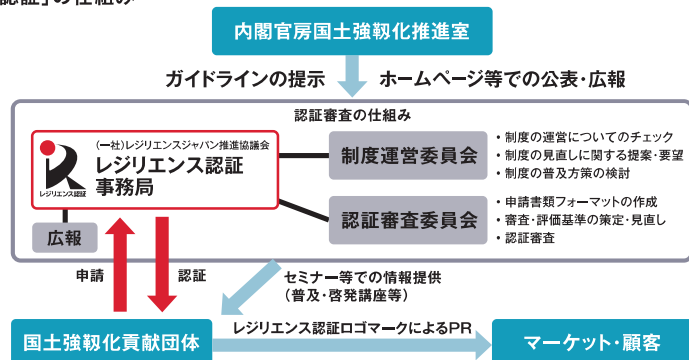
01 「レジリエンス認証」とは

内閣官房国土強靱化推進室は、さまざまな災害発生等への備えとして「事業継続(自助)」に関する取組を積極的に行う団体を認証する「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)制度」を平成28年(2016年)に創設しました。平成30年(2018年)には、社会・地域でのコミュニティ活動等も評価対象に含めた「社会貢献(共助)」も追加しています。

レジリエンス認証は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン(国土強靱化推進室)」に基づいて行います。認証制度を普及することで事業継続の積極的な取組を広げ、社会全体の強靱化を進めることを目的としています。

認証取得団体は協議会および国土強靱化推進室のホームページで公表されるとともに、認証・登録証とレジリエンス認証マークが付与されます。

「レジリエンス認証」の仕組み



02 取得のメリット

(1) 事業継続に関する取組を専門家に評価してもらうことで、更なる改善につながります。

- ◆ 不測の事態から会社を守る。
- ◆ 事前の備えにより信用力が向上する。
- ◆ 業務見直しによる体質強化
- ◆ 会社全体の企業力強化および事業承継につながる。

(2) 与信の向上につながります。

- ◆ 見直しを定期的(2年毎)に実施
- ◆ 経営者・社員の事業継続に関する意識の向上
- ◆ 雇用の確保につながる(安全・安心な企業)
- ◆ 社会・金融機関に対する与信の向上

(3) レジリエンス認証ロゴマークを名刺や広告等につけて、自社の事業継続や社会貢献への積極的な姿勢を顧客や市場に対してPRすることができます。(但し、医療法等他の法令で制限がされているものは除きます。)

- ◆ ロゴマーク付与による企業競争力の強化
- ◆ 公的機関(国土強靱化推進室、協議会)ホームページ公表による信用力の向上

(4) 関東地方整備局管内の建設会社は、関東地方整備局「建設会社における災害時の事業継続力(企業BCP)認定」をあわせて受けることができます。

(5) 一部の金融機関による融資等が受けられます。

日本政策金融公庫のBCP融資(社会環境対応施設整備資金)について要件確認証を発行します。

事業継続ならびに防災目的の施設等の整備を実施している方(主に中小事業者)に日本政策金融公庫が行っている融資制度です。

03 レジリエンス認証取得団体の声

1 農業、林業(埼玉県、従業員約47名)

コロナ感染症拡大での外食企業の店舗休止や時間短縮などの影響により、主力の作物取引額が大幅に減少するなど大きな影響を受けてきた。これらの状況を踏まえ事業の再構築を目指し、外食の店舗需要から小売り・通販・宅配需要への販売先業態変更への対応策の一環として取組むことで成長軌道に乗せる。会社として社員またその家族の生活を守ることを意識し、事業継続の大切さを感じさせられる。

2 建設業(熊本県、従業員約126名)

事業を継続する責任を改めて考え直す良い機会となった。レジリエンス認証を取得し社外から注目されるようになったことで、社内での危機管理の意識付けになっている。また、取引先などの協力体制を確立するためのプラス材料になっている。

この2年ではコロナ感染症や豪雨災害など発生したが、早期対策・対応することができ社内の意識が上がっていることも実感できた。

3 製造業(東京都、従業員約24名)

事業計画を策定する事により、不測の事態が発生した際どうすれば良いか認識できた。レジリエンス認証ロゴマークを取得で、取引先等名刺交換の際に弊社の姿勢をアピールできた。また内閣官房国土強靱化室のHPに記載され、会社の信用度が向上した。

取得後、取引先からBCPプランの有無を問われることが増えた。判断基準の一つにBCPプランがあるという事で、社外にも浸透しているように感じる。

4 製造業(岐阜県、従業員約334名)

新型コロナウイルス感染症拡大において、マニュアルを作成した。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出される度に対応を行っている。BC戦略として他工場への代替生産や投資戦略など、タイミングもうまく合っていた。

レジリエンス認証取得により、顧客から安心して取引できるとの声も多くいただいている。

5 卸売業、小売業(大阪府、従業員約23名)

事業継続活動を通じて「BCP導入とレジリエンス認証の重要性、その価値を実感した」。2018年度にレジリエンス認証を取得してから幾度か自然災害や感染症等の災害に見舞われたが、その都度いち早く対策を立て、大過なく事業継続できた。定期的な訓練と見直し・改善により、個々の意識と組織対応力が向上した成果と感じている。

最近では、他社からBCPの問い合わせやマスコミ紹介が増え、自社のBCPへの取り組みが少しずつ認知され始めている。

04 普及・啓発活動

レジリエンス認証説明会の開催

シンポジウム、ジャパン・レジリエンス・アワード等の開催

レジリエンス認証取得団体交流会の開催

このブロックには、レジリエンス認証のロゴマークとその説明が記載されています。左側のロゴは「レジリエンス認証 事業継続」で、右側のロゴは「レジリエンス認証 事業継続および社会貢献」です。両方とも「R」の文字をモチーフにしたデザインで、赤い丸が目を表しています。下の「ロゴマークについて」の文章には、このロゴが「レジリエンス(RESILIENCE)」の「R」をモチーフに、強さとしなやかさをデザインとして表現していることが説明されています。また、左上の赤い丸は日本を意味しており、その日本を両手で守り、支えている、すなわち、あらゆる災害から強くなりたい、みんなで力を合わせて、日本を守り抜いていくことを表現している、と説明されています。一方で、このロゴマークは、この赤い丸を人の顔として見ると、しっかりと人が地に足をつけて自立しているようにも見えます。いかなる災害にも一人でしっかりと自立してやっつけていける企業、団体であるという証であることも同時に表現しています。また、レジリエンス認証・登録を受けた団体は、「ロゴマーク規程」に基づき、使用することができます。社会貢献の活動が評価の対象に追加されたことに伴い、上記右のゴールドのロゴマークが新設されました。

このブロックには、ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)の表彰状が掲載されています。表彰状には「次世代に向けたレジリエンス社会構築へ向けて強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる先進的な企業・団体を評価、表彰する制度です。」と記載されています。右側には、アワードのロゴマークが描かれています。



アワード授賞の様子(レジリエンス認証取得団体の多くが受賞しています)